【教育特区】令和７年度分　成美学園高等學校　学校評価結果表

分類	評価の観点	評価項目	具体的な評価項目	コメント
１．特色ある教育	(1)地域との関わり	①特区内の地域人材・資源の活用	特区内の資源（自然・歴史・インフラ・住民等）を有効に活用して教育活動ができているか。	文化祭では、地域住民の来場もあり、連携を図っている。 また、一部の生徒が市内で行われた音楽イベントに有志で参加するなど積極的な姿勢がみてとれる。
		②特区内の経済的・社会的貢献	教育活動を通して特区内における経済的・社会的効果が認められるか（学校運営による経済的効果・住民の心理等への効果について）。	関東近県から2,000名を超える生徒が勝浦市内の施設に宿泊し、スクーリングを実施するため、経済的な効果が認められる。
	(2)株立学校としての特色ある取組	株式会社としての資源活用	独自のコミュニティやリソースを有効活用し、効果的な教育活動が実施できているか。	グループ会社の福祉施設に、必要に応じて学習等支援施設に在籍する特別な支援を要する生徒が通うことができ、教育の支援に繋がっている。 学校職員と福祉施設職員とが研修等を行い、より充実した支援体制の構築に努めてもらいたい。 福祉施設が行う支援内容について、学校においても確認した上で、教育支援に繋げてもらいたい。
	(3)特区計画	特区計画の実現性	企画部門や教育部門等で連携し、特区計画どおりに事業実施ができているか	キャリア実践科目では、地域の方（地域連携協力会議の委員）による講義（漁業、音楽、商店会等）を行った。 今後は、特区計画に記載の本市の地域特性分野に係る方の講義等を増やす。
	(1)学校教育法・各種設置基準・学習指導要領等	①チェックシート参照	各種法令遵守を徹底しているか。	特別活動の単位認定の認識に一部誤りがあったため、教育特区制度の趣旨に沿った運用とする必要がある。
		②学則	学則に必要事項が記載されている。また、面接指導等実施施設と学習等支援施設を区別して記載している。	令和7年度中に面接指導等実施施設と学習等支援施設を区別する文言を追記した。 寄宿舎について、学則に記載する必要があるため、学則変更を必要とする。
			学則に定める収容定員に対して、在籍生徒数が超過していない。	複数の学習等支援施設において、在籍生徒数が学則に記載の収容定員を超過している状況であるため、改善を求める。
		③学校評価	実施校および学習等支援施設において、活動の状況の評価を行い、公表している。	生徒・保護者等にアンケートを実施しているが、実施校においては、学校関係者評価を加えた評価とすること。各学習等支援施設については、学校評価に対する改善策を併せて記載する必要がある。 上記の結果を踏まえて、現場における教育活動も改善してもらいたい。
		④危機管理マニュアル	危機管理マニュアルに災害時への対応について十分に記載されているか。	災害毎の危機管理マニュアルが作成されている。 今後は、災害の状況に応じた行動を職員全員がとれるように研修を行うこと。
		⑤通信教育連携協力施設	県外の通信教育連携協力施設は、その所在地の都道府県知事が定める高等学校通信制課程の設置認可基準を参酌して適切かどうか確認を行っているか。	施設調書から所在地の都道府県の設置基準を確認されているが、未遵守の事項については、改善すること。
		①通信教育実施計画	学習の目標及び内容を踏まえ、適切な内容の指導及び評価を適切な時期に実施するための体系的な計画を作成、生徒に明示しているか。	多様なメディアを利用した指導及び学習の評価方法について、十分な記載がない。 学則に沿った教育課程表を作成し、生徒及び保護者へ明示すること。
		②指導計画について	履修計画書について、生徒の特性・進路等に応じた適切な教科・科目の履修ができるようしているか。	学則に定める教科については、生徒が履修できるように年間指導計画及び学習指導案を生徒に明示すること。
			高等学校学習指導要領により、適切な指導計画となっているか。	学習指導における評価の方法について、学習指導要領及びガイドラインに沿った方法に改善する必要がある。
		③添削指導について	添削指導は、思考力・判断力・表現力等を育む記述式の問題が取り入れられているか。また、生徒一人一人に応じた助言、記載内容となっているか。	教科によっては、記述式の問題が少ないものがある。 レポートの回答については、生徒の学力及び学習意欲の向上につながるアドバイス等の記載が必要である。

分類	評価の観点	評価項目	具体的な評価項目	コメント
2．学校の教育活動及び管理運営状況	(2)教育の状況	④教育課程	面接指導の時間数を免除するにあたっては、減免にふさわしい時間数のメディア利用を行っているか。 多様なメディアを利用する場合、学習内容に合わせた、かつ適切な評価が可能な報告課題の提出を求めているか。	一部の生徒について、多様なメディアを利用した学習の時間数と同程度の時間数を免除する運用が行われていると思われるため改善を要する。 また、本校に通う全日制の生徒は多様なメディアを利用して行う学習は行わず、学習等支援施設に通う生徒がメディア視聴を行っているため、通信教育実施計画にそれぞれの教育課程を記載すること。 メディア視聴を行った生徒の一部は、計画的な視聴をしていない学習の仕方が見られるため、成果の確認がとれるように学校側が制度の趣旨を理解して学習支援を行うこと。 報告書の内容については、簡易な課題とせず、工夫を加えるなどの改善を講ずる必要がある。 各学年相当の時間割について、生徒自身の興味関心に合わせて履修が可能となる教育課程の編成を行うこと。
		⑤多様な生徒への対応	実施校として、生徒の進路選択及び心身の健康等に係る相談に対応し、多様な生徒への個別具体的な支援を行っているか。	養護教諭を配置し、生徒の不安や悩みへの支援に努めようとしている。 スクールソーシャルワーカーを配置したことから、多様な状況の生徒へのより寄り添った支援を行うことができるようになった。 今後は、特別な支援を要する生徒に対し、個別指導及び個別支援計画を作成するよう努めること。
	(3)施設・設備の状況	①施設・設備	実施校や通信教育連携協力施設を設ける場合は当該施設について、施設及び設備基準を満たしているか。	実施校については、適切な環境に位置し、施設及び設備も整っており、面接指導に必要な実習等のための施設も備えられている。 学習等支援施設においては、施設内の生徒の学習環境等の向上に努め、施設近隣の教育環境にも注視すること。 また、施設設備の安全基準を業者に任せるだけでなく、各校舎職員においても適合基準の確認を行うこと。
		②校具・教具	各校具及び教具が適切に設置され、活用されているか。	実習及び実験に必要な校具等を購入したことで、学習環境が適切となった。 事故の無いよう、教諭による校具等の適切な管理を行うこと。
	(4)組織・学校運営の状況	①教員配置	学校規模等に応じて必要な教員を配置できているか。（特に通信制高校においては、「主として実施校における通信制の課程の生徒の教育に従事すると認められる者」を必要数配置できているか。）	生徒数に応じた人数の専任教諭が配置されておらず、適切な環境とは言えないため、計画的に教諭を採用し、生徒の学習の質の向上に繋がる環境へ改善すること。
		②通信連携協力施設の管理	実施校として行うべき活動と通信連携協力施設との活動を適切に区分出来ているか。各施設の管理監督は適切に行えているか。	ホームページにおける実施校と通信連携協力施設の活動に関して、まぎらわしい表現の修正が多くされたが、パンフレットも含めて、より分かりやすい表現に今後も修正すること。 入学希望者との面談では、実施校と通信連携協力施設の活動について十分な説明をしているとのことであるが、入学手続きに関し、曖昧な点が見られることから説明には注意を払うこと。 各学習等支援施設において、生徒にとって安心・安全な学習環境となるように工夫すること。
		③服務管理	職員の服務管理は、出退勤管理システム等により、適切に管理されているか。	令和7年度の出退勤簿は適正に管理されていた。
		④情報の公表	情報の公表は適切に行われているか。	実施校及び通信教育連携協力施設において、情報の公表を行っているが、通信教育連携協力施設の公開内容に不十分な点があることから改善を要する。
	(5)経営状況	①役員要件	役員要件に適合した人材が配置されているか。	会社役員には、会社経営者及び弁護士資格を有する者が就任しておるため適切と考える。 公認会計士による経営診断によると、収益状況は前年比に対し向上しているが、財政状況は総資産に占める負債率が高い。 直ちに会社継続が危ぶまれる状況ではないと考えるが改善が必要である。
		②資産要件	業務状況調査書類等（賃借対照表、損益計算書及び事業報告書）により、経営状況に問題がなく、資産要件に適合しているか。	